

## さいたま市感染症発生動向調査(週報)

2022年第29週(7月18日~7月24日)

### ■全数把握対象疾患(結核、新型コロナウイルス感染症を除く。)

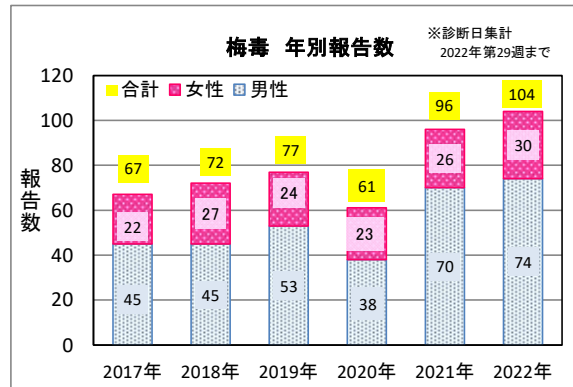
#### 第29週 受理分

五類感染症 梅毒 8件(病型:早期顕症梅毒Ⅰ期3件、早期顕症梅毒Ⅱ期3件、無症状病原体保有者2件)

#### ※梅毒の報告が増加しています!

さいたま市の今年の梅毒報告累計は104件となり、過去最多だった2021年の年間累計を上回りました。

梅毒は、性的な接触(他人の粘膜や皮膚と直接接触すること)などによってうつる感染症です。早期に治療しないと心臓、血管、脳など複数の臓器の障害につながることがあります。感染が疑われる場合は、早めに受診しましょう。

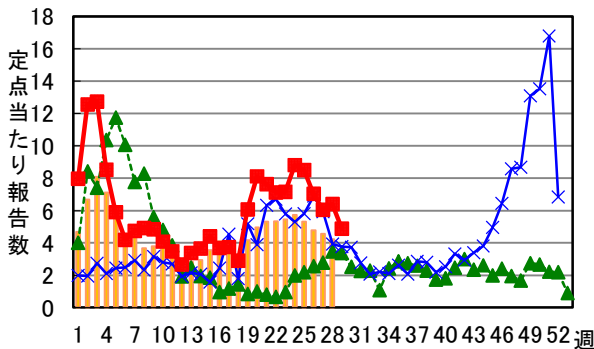


### ■定点把握対象疾患【報告数が上位の疾患】

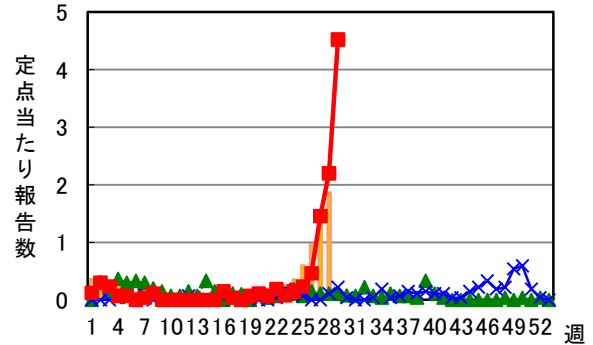
※その他の定点把握対象疾患は、「感染症発生動向調査 週情報(患者報告数、定点当たり報告数、年齢階級)」をご覧ください。

順位	疾患名	定点当たり患者報告数		2週間前からの傾向	過去5年間の同時期との比較
		今週	前週		
①	感染性胃腸炎	4.88	6.40	減少	例年並み
②	手足口病	4.52	2.20	増加	例年並み
③	RSウイルス感染症	1.76	1.60	増加	例年並み
④	流行性角結膜炎	0.88	0.33	増加	例年並み

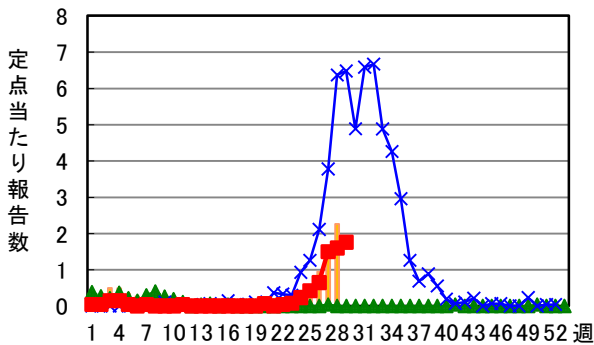
①感染性胃腸炎



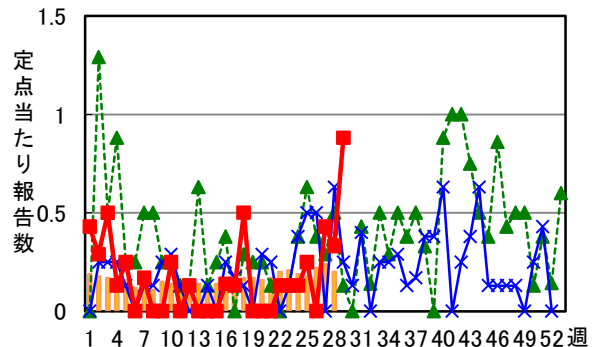
②手足口病



③RSウイルス感染症



④流行性角結膜炎(はやり目)



---▲--- さいたま市 2020年    ---×--- さいたま市 2021年    ---■--- さいたま市 2022年    ■ 全国 2022年

# 全数把握対象疾患届出数(2022年)

類型	疾患名	2022年 第29週 受理分	2022年 累計 ※1	2021年 累計 ※1,2	疾患名	2022年 第29週 受理分	2022年 累計 ※1	2021年 累計 ※1,2
一類	エボラ出血熱	0	0	0	ペスト	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	マールブルグ病	0	0	0
	痘そう	0	0	0	ラッサ熱	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0				
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	中東呼吸器症候群(MERS)	0	0	0
	結核 ※3				鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	鳥インフルエンザ(H7N9)	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0	0				
三類	コレラ	0	0	0	腸チフス	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	パラチフス	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	0	6	21				
四類	E型肝炎	0	4	6	東部ウマ脳炎	0	0	0
	ウエストナイル熱	0	0	0	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	0	0	0
	A型肝炎	0	0	1	ニパウイルス感染症	0	0	0
	エキノкокクス症	0	0	0	日本紅斑熱	0	0	0
	黄熱	0	0	0	日本脳炎	0	0	0
	オウム病	0	0	0	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0
	オムスク出血熱	0	0	0	Bウイルス病	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	鼻疽	0	0	0
	キャサヌル森林病	0	0	0	ブルセラ症	0	0	0
	Q熱	0	0	0	ベネズエラウマ脳炎	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	発しんチフス	0	0	0
	サル痘	0	0	0	ポツリヌス症	0	0	0
	ジカウイルス感染症	0	0	0	マラリア	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	野兔病	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	ライム病	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	リッサウイルス感染症	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	リフトバレー熱	0	0	0
	炭疽	0	0	0	類鼻疽	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	レジオネラ症	0	8	14
つつが虫病	0	0	0	レプトスピラ症	0	0	0	
デング熱	0	0	0	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	
五類	アメーバ赤痢	0	2	5	侵襲性肺炎球菌感染症	0	11	20
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	0	2	2	水痘(入院例に限る)	0	2	2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	3	13	先天性風しん症候群	0	0	0
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	0	0	0	梅毒	8	104	96
	急性脳炎	0	9	14	播種性クリプトコックス症	0	0	4
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	破傷風	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	5	10	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	0	4	8	百日咳	0	0	5
	ジアルジア症	0	0	0	風しん	0	0	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	麻しん	0	0	0
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0
	新型コロナウイルス感染症 ※4							
指定感染症	該当する疾患はありません							

2022年7月26日 15:00集計

※1 累計は診断日で集計しています。

※2 2021年累計は速報値となっています。

※3 結核は月ごとに、「さいたま市感染症発生動向調査(結核月報)」(<https://www.city.saitama.jp/002/001/008/001/006/p007261.html>)に掲載します。

※4 発生状況については、さいたま市ホームページ(<https://www.city.saitama.jp/002/001/008/006/013/001/p079716.html>)に掲載しています。

感染症発生動向調査 週情報（患者報告数、定点当たり報告数、年齢階級）

（2022年第29週 令和4年7月18日～7月24日）

	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80歳-
インフルエンザ #1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20歳-						
RSウイルス感染症	44	1.76	3	6	12	10	7	2	2	2	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	2	0.08	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
感染性胃腸炎	122	4.88	-	15	31	18	18	13	5	7	3	2	4	2	1	3						
水痘	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
手足口病	113	4.52	-	10	53	24	13	8	4	-	-	-	-	-	-	1						
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん	13	0.52	-	1	7	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	12	0.48	-	-	3	5	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70歳-	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	7	0.88	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	
	報告数	定点当たり	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳-				
細菌性髄膜炎 #2	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザによる入院患者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
ロタウイルスによる感染性胃腸炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

( - : 0 )

#1 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く

#2 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く

#3 オウム病を除く

流行状況…  : 警報レベル、  : 注意報レベル

7月 26日 13:00 集計

■ グラフ総覧(2022年第29週)

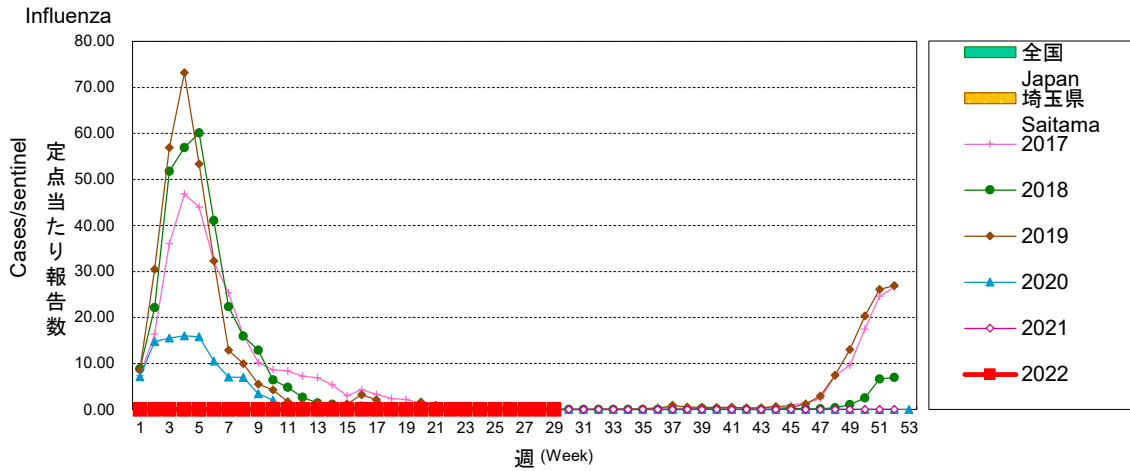
Disease trend graph (29th week, 2022)

さいたま市 定点当たり報告数グラフ

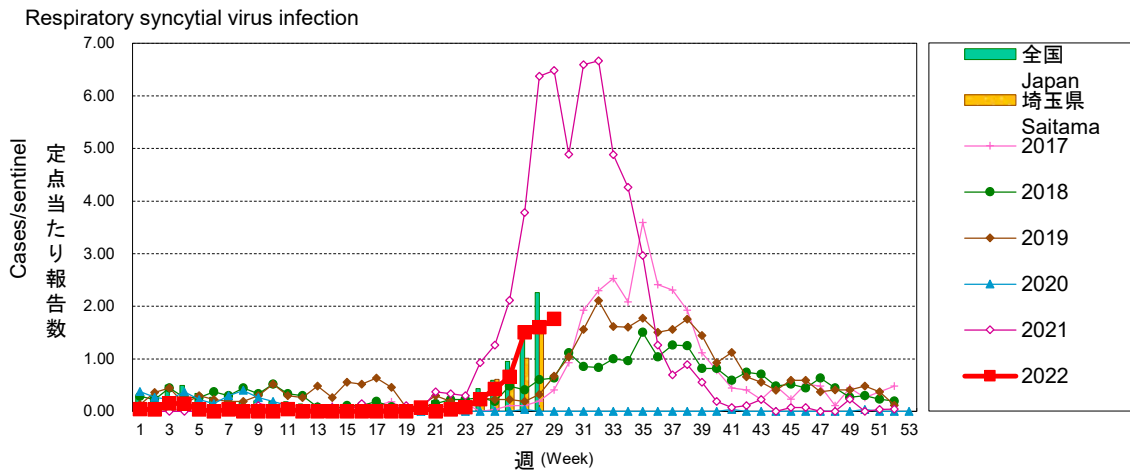
Disease Trend Graph (weekly reported cases per sentinel in comparison),Saitama City

※ 定点当たり報告数グラフの「全国」と「埼玉県」については、当該週の前週までを掲載しています。

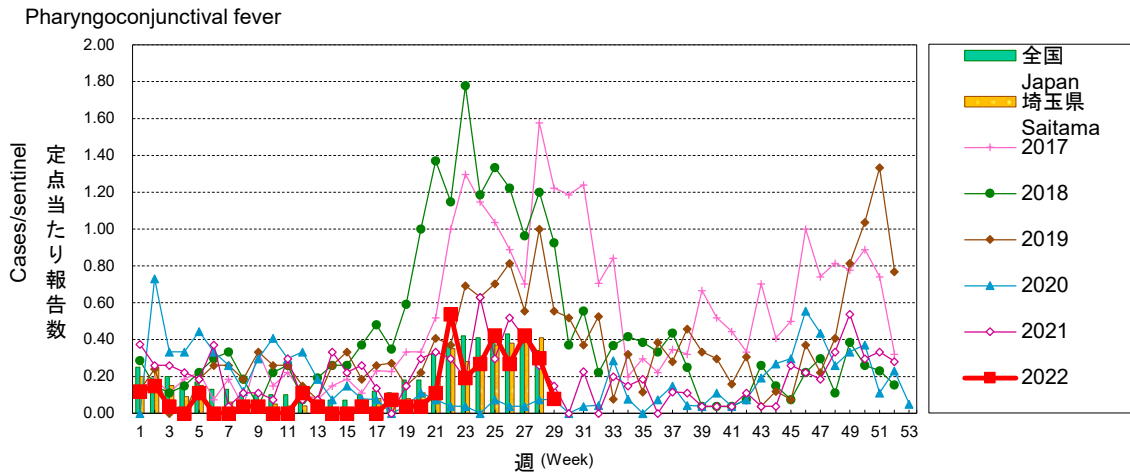
インフルエンザ



RSウイルス感染症



咽頭結膜熱

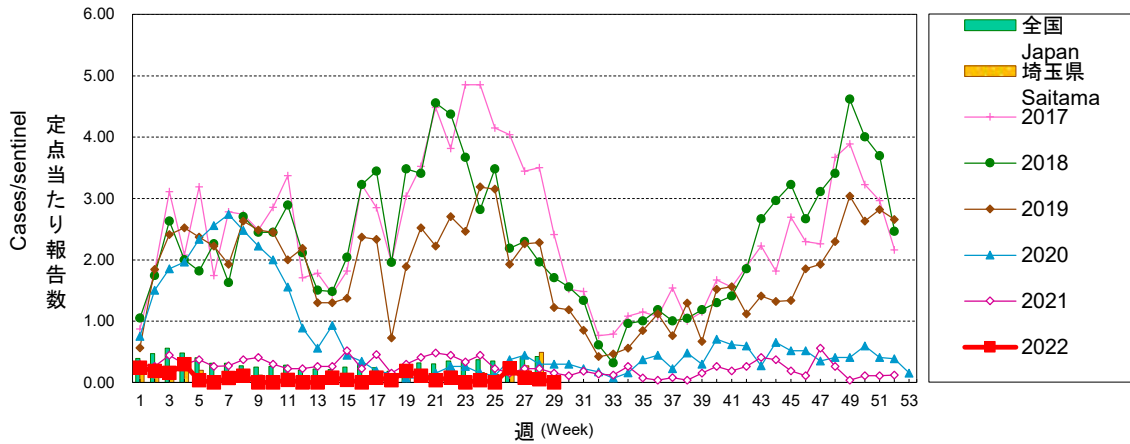


さいたま市 定点当たり報告数グラフ

Disease Trend Graph (weekly reported cases per sentinel in comparison),Saitama City

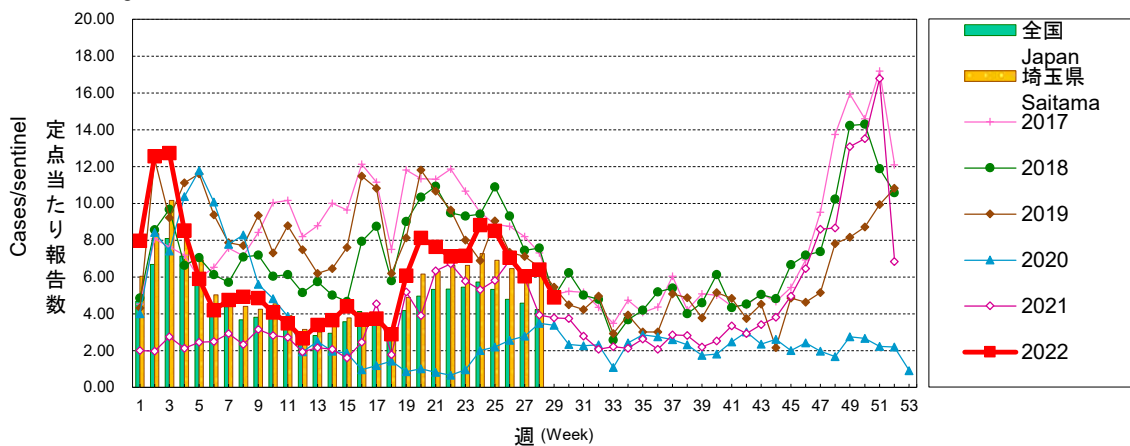
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

Group A streptococcal pharyngitis



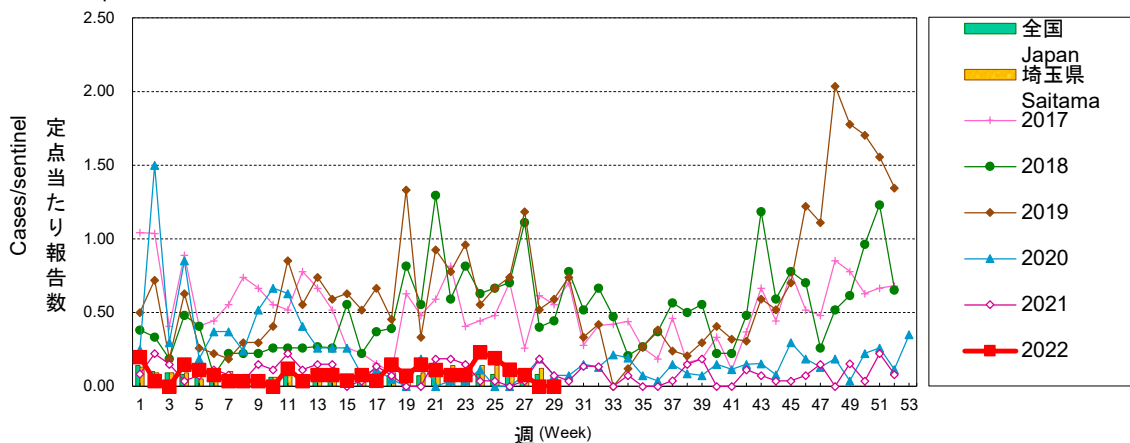
### 感染性胃腸炎

Infectious gastroenteritis



### 水痘

Chickenpox

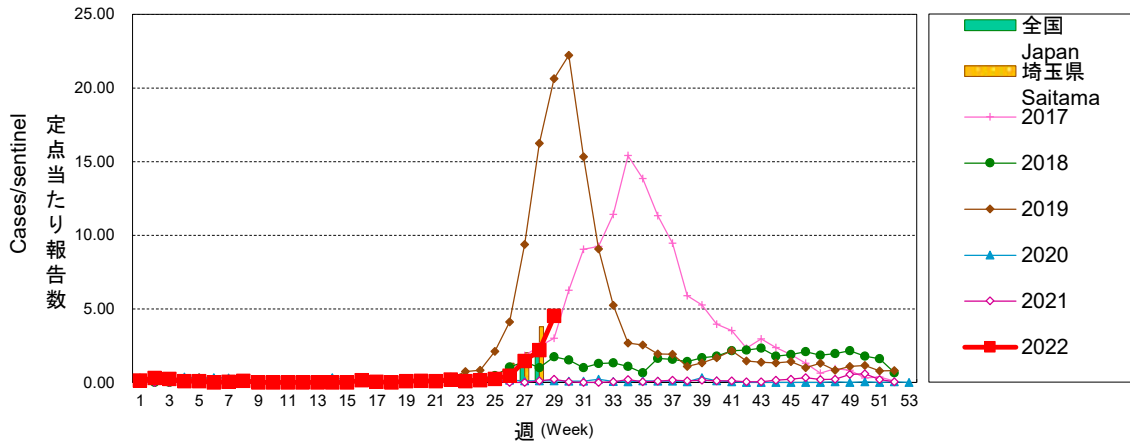


さいたま市 定点当たり報告数グラフ

Disease Trend Graph (weekly reported cases per sentinel in comparison),Saitama City

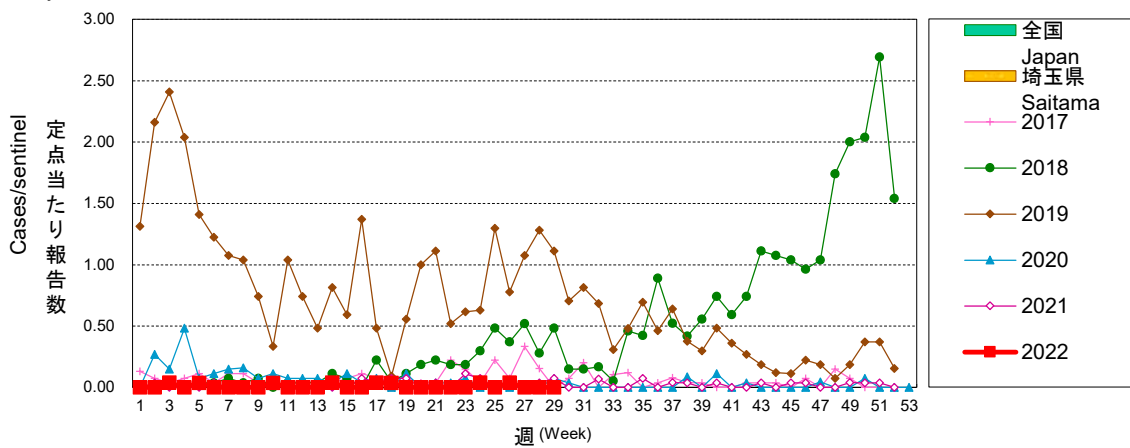
手足口病

Hand, foot and mouth disease



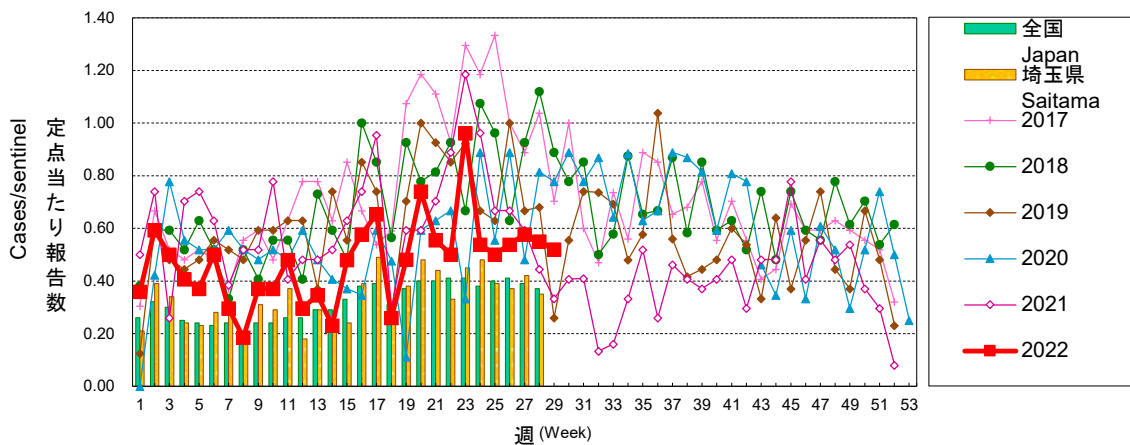
伝染性紅斑

Erythema infection



突発性発しん

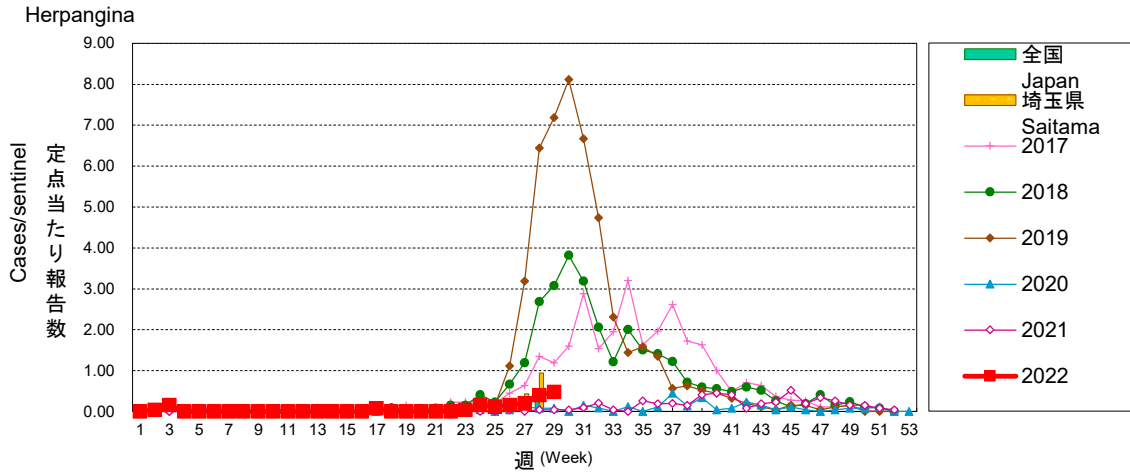
Exanthem subitum



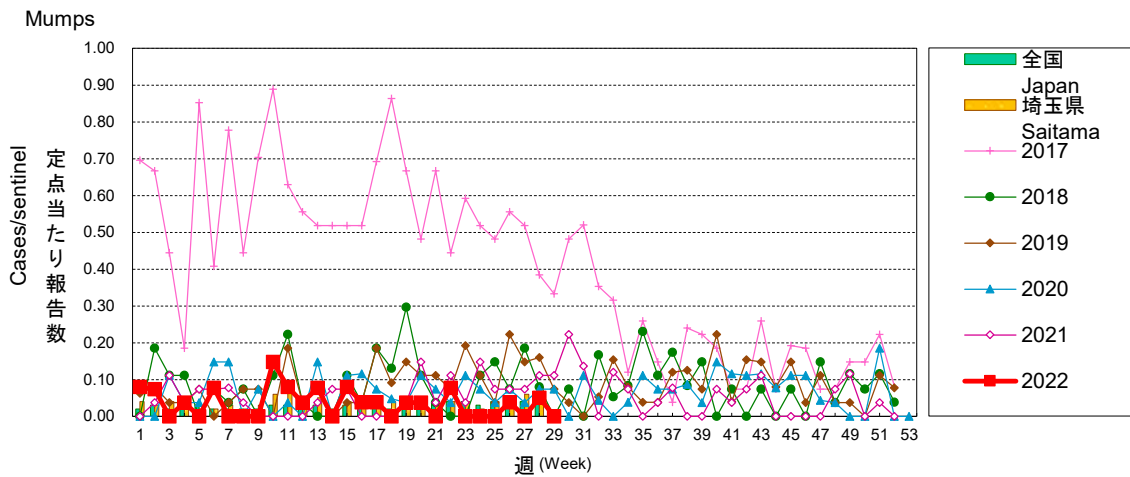
さいたま市 定点当たり報告数グラフ

Disease Trend Graph (weekly reported cases per sentinel in comparison),Saitama City

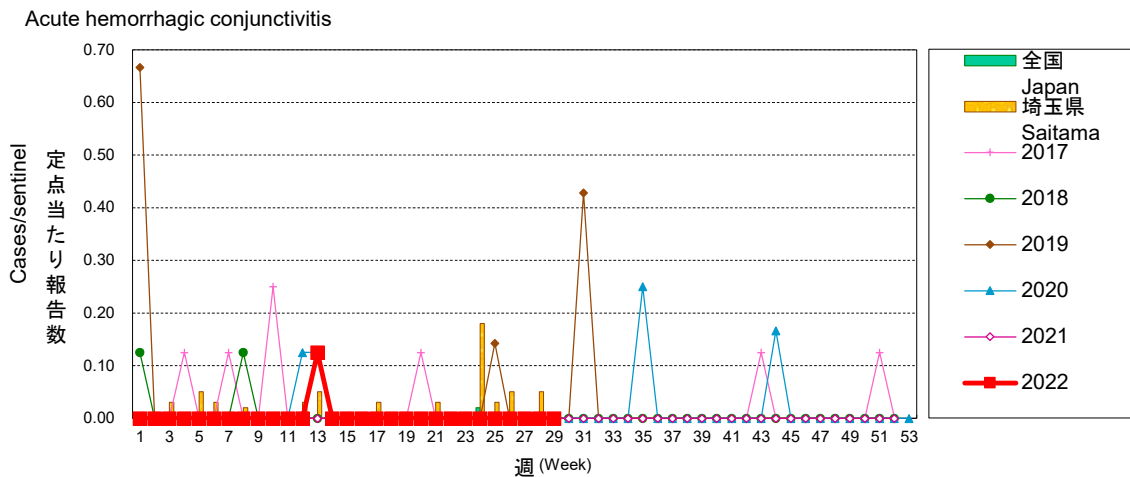
ヘルパンギーナ



流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎



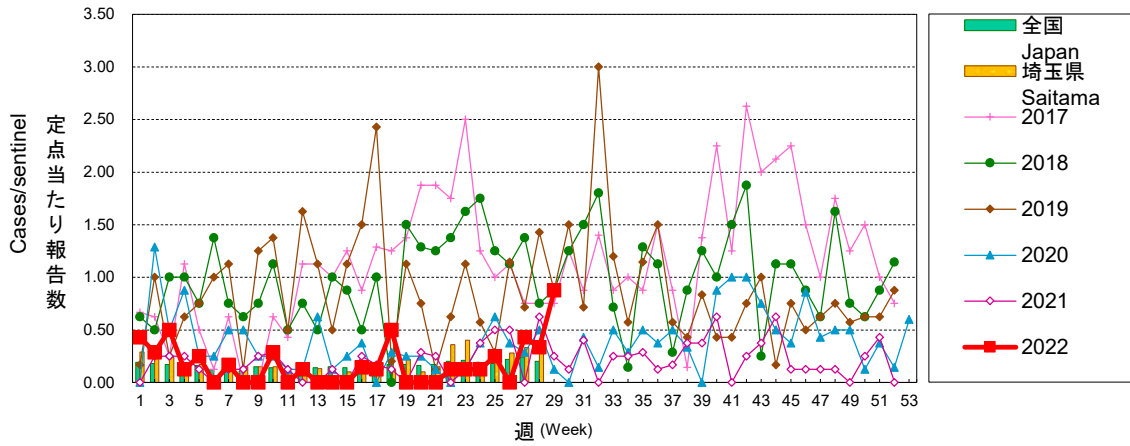


さいたま市 定点当たり報告数グラフ

Disease Trend Graph (weekly reported cases per sentinel in comparison),Saitama City

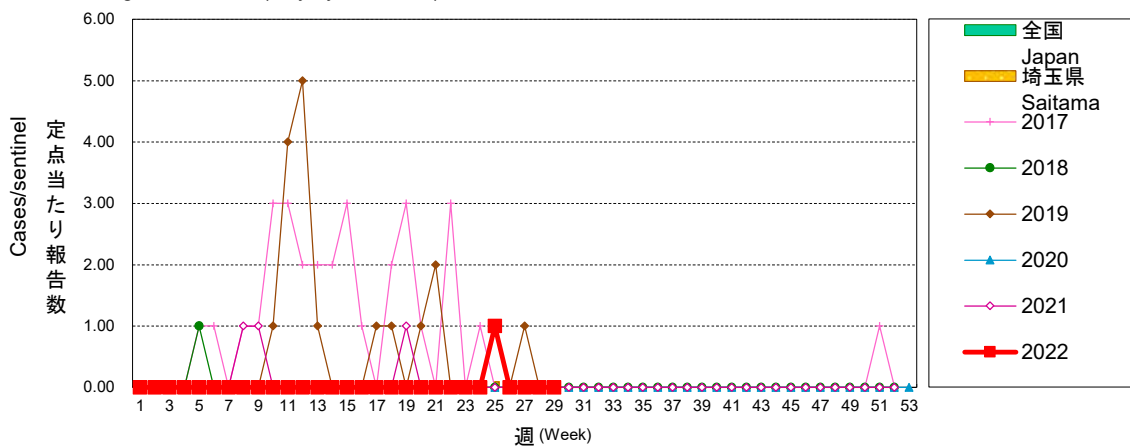
流行性角結膜炎

Epidemic keratoconjunctivitis



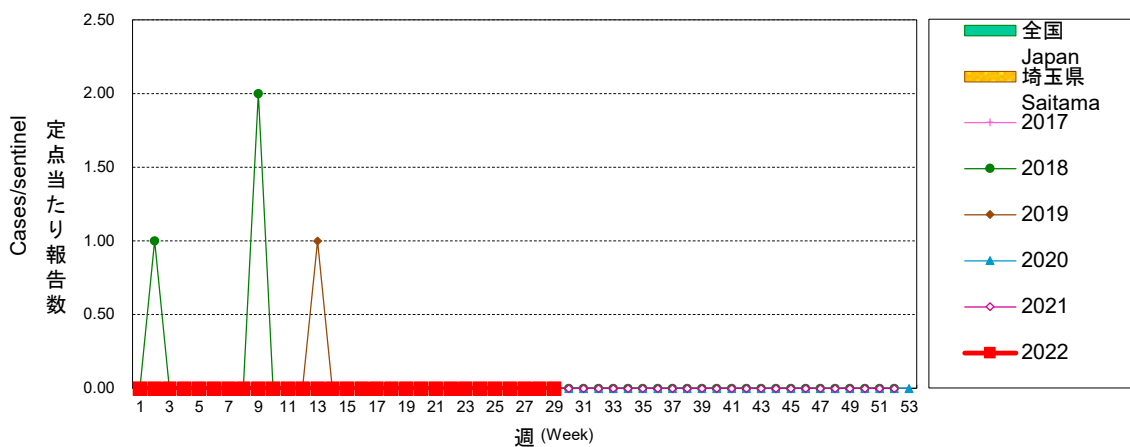
感染性胃腸炎(ロタウイルス)

Infectious gastroenteritis (only by Rotavirus)



クラミジア肺炎

Chlamydial pneumonia

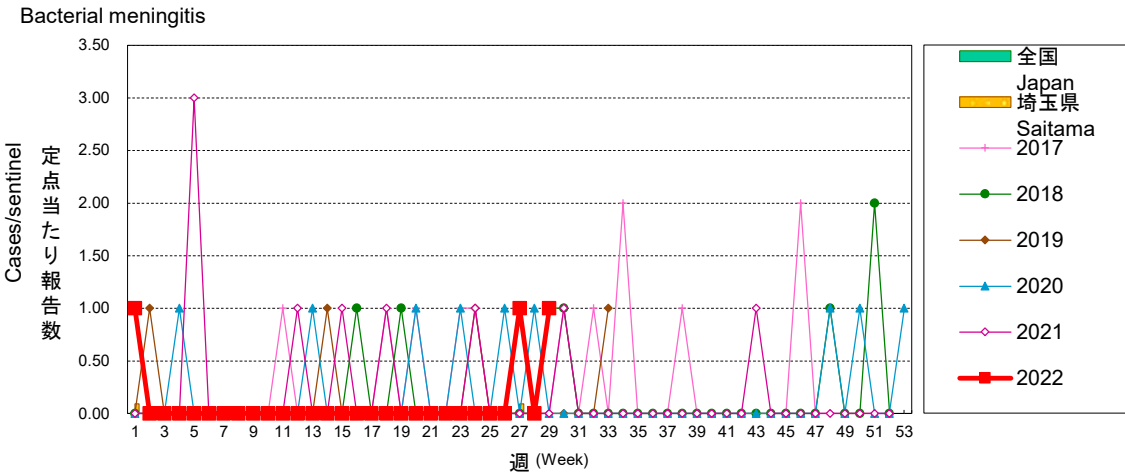




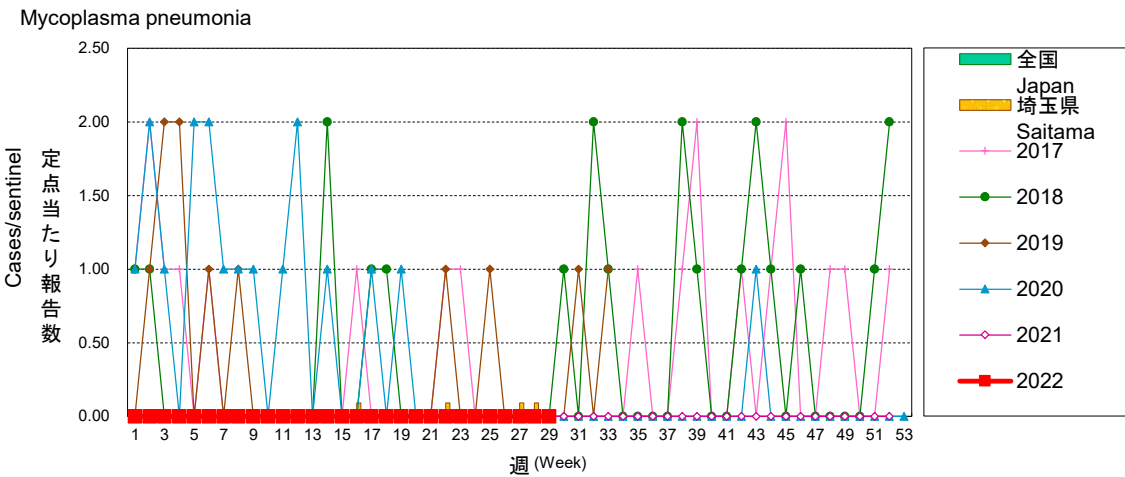
さいたま市 定点当たり報告数グラフ

Disease Trend Graph (weekly reported cases per sentinel in comparison),Saitama City

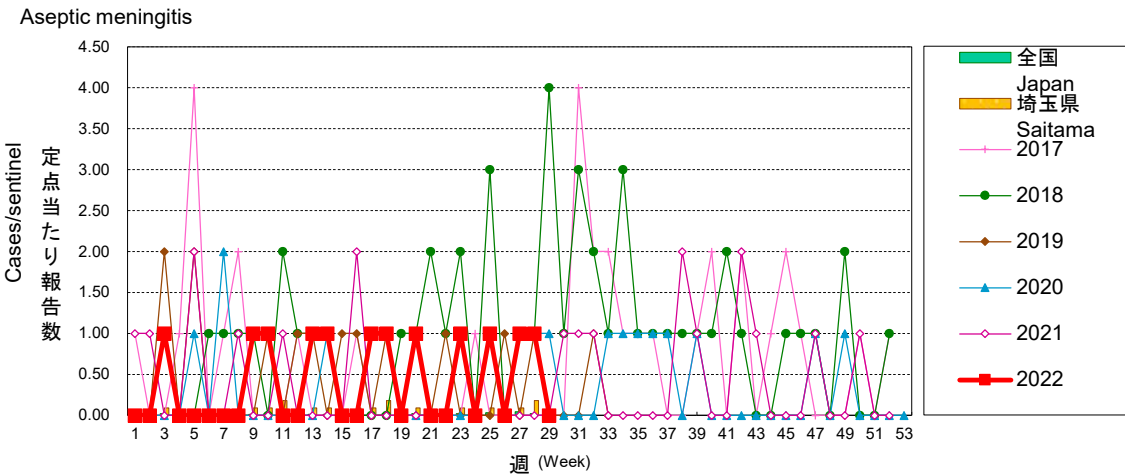
細菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



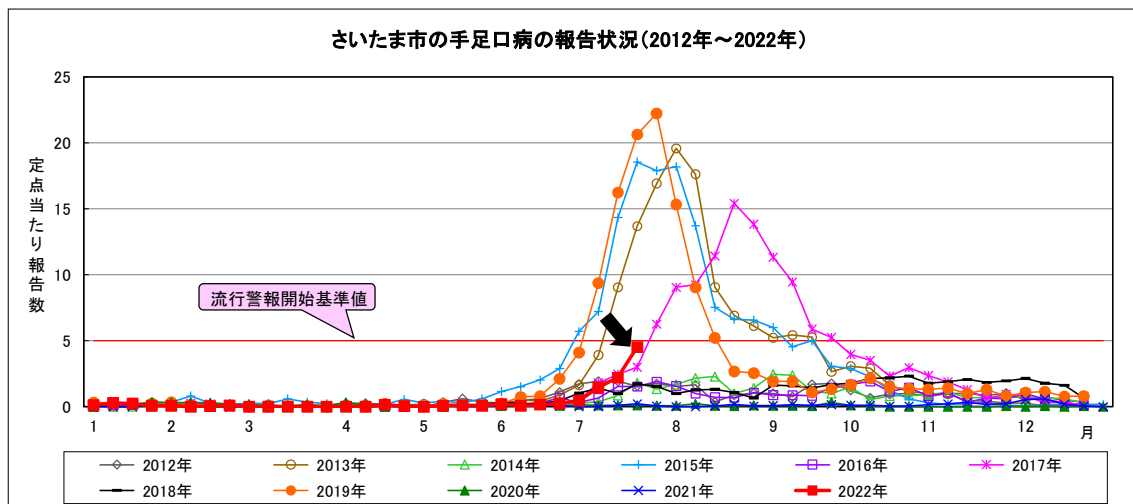
無菌性髄膜炎



## 手足口病の報告数が増加しています！

手足口病は、乳幼児を中心に夏季に流行する「夏かぜ」の代表的な疾患で、ウイルスの感染によって起こる感染症です。ウイルス感染から3～5日後に、口の中や、手のひら、足の裏などに水疱性の発疹(水ぶくれ)が出現します。

さいたま市における過去10年間の状況を見ると、2013年、2015年、2017年、2019年に大きな流行がありました。新型コロナウイルス感染症が流行中の2020年、2021年は季節性も乏しく、定点当たり患者報告数は例年を大きく下回りました。2022年は7月初旬から流行の兆しが見られ、第29週の定点当たり報告数は4.52となりました。流行警報開始基準値(定点当たり5.00)に迫る勢いで増加しています(下図)。



### <感染予防のためにできること>

暑い日が続くと食欲がなくなり、体力が低下して体調を崩しやすくなります。日頃からの体調管理と原因となるウイルスを近づけない習慣が大切です。手足口病は、治った後も比較的長い期間便の中にウイルスが排泄されます。また、感染しても発病しないままウイルスを排泄している場合もあります。

- ◇ 流水とせっけんでしっかりと手を洗いましょう。
- ◇ タオルやコップ、おもちゃの共用はやめましょう。
- ◇ おむつを交換する時には、排泄物を適切に処理し、しっかりと手を洗いましょう。